

令和2年度第3回学校運営協議会議事録

実施日：令和3年1月30日

※メール、FAXなどで意見をあつめる形で実施

各委員からの意見、感想

令和2年度学校評価について

・大阪府教育審議会のメンバーとして府立高校の今後のあり方を検討していますが、その中でも、エンパワメントスクールが注目されています。その成果として、①欠席、遅刻者の減少、②中途退学者の減少、③基礎学力の定着並びに進路決定率の向上があげられています。淀川清流高校はエンパワメントスクールのラストランナーですが、学力向上や進路指導など、生徒一人ひとりに寄り添った指導により、府全体のエンパワメントスクールの牽引者として大いに評価したいと思います。

・淀川清流高校やエンパワメントスクールを熟知している校長のリーダーシップのもと、教頭や教職員の尽力に敬意を表します。

・全体的な学力は向上したと思うが、授業の興味と理解度が低く、理解できていない生徒がいるようです。補習授業や学びなおしの授業での理解ができていない生徒もいるようなので、生徒の理解度に合わせた授業もしてほしいと感じました。

・コロナ禍で進路指導も大変だったと思います。就職指導を含め教員が生徒に寄り添い、進めてくれたことに感謝しています。

・大学進学を希望する生徒が増えたことは、学校生活を楽しみながら学ぶ興味が向上した結果だと思っています。

・学校行事が生徒一人ひとりの思い出になります。コロナ禍で感染症対策が大変な中、ありがとうございました。

・授業アンケート結果において、数学の低下が気になりますが、全体的には授業評価が上がってきているので良いと思います。

・コロナの影響で活動に制限があったと思いますが、年々、部活動参加人数が増えてきているのは良い傾向です。

・コロナ禍にもかかわらず、生徒の学力向上に苦心が伺える。

・コロナ禍でかなり苦勞したと思いますが、その分努力されたことが感じられます。影響を受けた部分は仕方ないと思いますが、全体的に見て十分に学校経営されており、素晴らしいと思いました。

・コロナ禍でも授業に対するアンケートの肯定的な回答が 3.21 から 3.31 に上昇したのは先生方の授業への取組みの成果です。

・キャリア教育に肯定的な意見を持つ生徒が増えてことは素晴らしいと思います。目の前のアルバイトや就職・進学だけではなく、自分の人生を考えることは生きる力の礎になります。

・遅刻や欠席総数が減少したのも生徒指導の成果です。

・コロナ禍の学校スタートの中、入部率が大きく増加したのはよいことです。入部は学校への定着、そして愛校心へとつながるはずです。

・コロナの副産物で教員の ICT 化に寄与することはあったのでしょうか？

⇒(事務局からの回答) コロナ禍において、臨時休業中の生徒の学力保障のため、オンライン授業検討委員会を組織し、オンライン授業実施に向けて準備をすすめました。各教科で試行を進めるなか、教員が ICT 機器を利用する機会が増えたことで、実際の授業で ICT 機器を活用する割合が高くなったと思います。

令和3年度学校経営計画について

・今後も、令和3年度計画にあるように、ICTを活用した各種教育活動の充実に期待します。

・素晴らしい内容だと思う。生徒が教員を信頼し、卒業してからも淀川清流高校の生徒だったことに誇りが持てる学校づくりを期待します。

・コロナ禍の中でもできる範囲内での学校運営は大変だと思います。やれること、やれないこと、やりたい思い、やってあげたい思いなど、少しでも令和3年度はできればと思います。

・効果のある施策は続けていくべきですし、内容も適正で外部者から見て学校への魅力も感じます。

・1人1台の端末導入に向けて、教員の意識改革が必要だと思います。私学高校と比べて、府立学校全体が大きく後れを取っています。ご承知の通り、私学の広報では「休校になっても大丈夫」と言っています。この部分を今改良できれば大きな売りになるのではないのでしょうか。

・ユネスコスクールとして、SDGsの観点から国際理解教育を推進することは大切です。是非とも海外の学校との交流を受け入れてください。リアルが無理でもWeb交流ができます。

職員の任用に関する意見について

・特になし